

第 9 回 第二期武蔵野市産業振興計画策定委員会会議録

【会議概要】

日 時	平成 31 年 2 月 25 日 (月) 15 : 00～16 : 30
場 所	武蔵野商工会館 第 1・2 会議室
出席委員	福田敦委員長、松岡拓公雄副委員長、姫野裕基委員、稲垣英夫委員、花俣延博委員、川口幸子委員、野口篤志委員、目黒裕人委員、渡邊昭浩委員
欠席委員	榎本一宏委員、黒竹光弘委員、西塚裕行委員
事務局	生活経済課 西川課長、平塚課長補佐、古藤係長、劔持主任、北村主任 パシフィックコンサルタンツ株式会社 3名
オブザーバー	武蔵野市商店会連合会 1名、武蔵野商工会議所 1名
傍聴者	2名
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 第二期武蔵野市産業振興計画 (中間のまとめ) パブリックコメント募集結果について (2) 第二期武蔵野市産業振興計画 (案) について 3 その他 4 閉会
配布資料	次 第 資料 1 第二期武蔵野市産業振興計画策定委員会 第 8 回策定委員会会議録 資料 2 第二期武蔵野市産業振興計画 (中間のまとめ) パブリックコメント募集結果について 資料 3 第二期武蔵野市産業振興計画 (案)

【議事】

1 開会

2 議事

(1) 第二期武蔵野市産業振興計画 (中間のまとめ) パブリックコメント募集結果について

委員長	第 9 回目の委員会となる。本日はパブリックコメントの結果とパブリックコメントを受けて修正された計画案についてご審議いただく。よろしく申し上げます。
事務局	<資料 2 資料説明>
委員長	3 名から 13 件のご意見が提出された。パブリックコメント結果と策定委員会の取り扱い方針については、計画書の付属資料として本編に付されるとのことである。委員会としての取り扱い方針についてご意見等をいただきたい。
委員	パブリックコメントについては、計画書案に沿った順番で掲載した方が分かりやすい。
委員長	計画書案の記載頁を入れた上で、順番に記載いただく方が良いかと思う。
事務局	そのように修正、対応します。
委員長	策定委員会の取り扱い方針について文言等修正はあるかと思うが、このような形で対応させていただくと委員会の承認を得たものとさせていただく。

(2) 第二期武蔵野市産業振興計画(案)について

事務局	<資料3 資料説明>
委員長	軽微な字句・用語の修正以外に、前回の委員会でのご意見を踏まえて修正を掛けているとのことである。また、P59以降に用語説明追加されたとのことである。参考資料についてもご説明いただきたい。
委員	市の上位計画にあたる第六期長期計画の策定作業が行われており、現在パブリックコメントが実施されている。産業振興およびまちづくりについても記載しており、参考までに配布している。ご確認いただければと思う。
委員	考えていた部分については、かなり盛り込んでいただいた。あまり細かくすると、長期計画から漏れてしまう可能性がある。この計画案でよろしいかと思う。
委員	前回委員会での意見も反映していただいた。米印を付記した用語については、付属資料で説明していることについて、最初の方で注釈を入れておくことより分かりやすくなると思う。
委員	パブリックコメントの募集結果について興味深く待たせていただいた。もう少し多くの方からご意見があるものと思っていたが、計画案で網羅されているということなのだろう。 市の特徴である農業・商業から住民・企業誘致と幅の広い計画案となっている。今後は、具体的な施策に落とし込んでいただきたい。
委員	私もパブリックコメントについては興味深く見ていた。ご意見提出者が3名であることから、今後は募集の仕方でも検討していく必要があるだろう。 高齢者も多く在住していることから、福祉分野等にご意見が多く出されるのだろうと思っていたが、実際はまちの再開発に関わるご意見が多く見られた。 個人的には吉祥寺の再開発が進み、賑やかになってほしいと考えている。大企業に頼らずに、市内の様々な会議体を通じて会のリーダーがリーダーシップを発揮して進めていかなければならないのだろうと、この委員会を通じて深く感じた。
委員	パブリックコメントはメールとFAX、郵送で受付けている。提出方法について追記しておくといい。 P42に施策の一覧があり星印が重点事業となっている。前回の委員会で、目標1(1)①「武蔵の魅力や価値を高める発信」も重要とのご意見があったかと思う。事務局でも重点事業とすべきか悩んでいるところである。委員の皆さんがどのようにお考えかお伺いしたい。
委員長	施策の1番目にあげられており、現行計画では「武蔵野ブランド」といった表現が最初にあったかと思う。「武蔵野市の魅力や価値を高める、発信」という点でいかがか。
委員	待ちの時代ではない。発信することは非常に大事。
委員長	発信の在り方についても検討すべきだが、重点事業とすることに異議はないか。
委員一同	異議なし
委員長	では、目標1(1)①も重点事業とする。
委員	重点事業として計6つあげられているが、なぜこの6つが重点事業なのか根拠説明が必要ではないか。根拠を明確にしておいたほうが良いと思う。 前の議題のパブリックコメントについてだが、12番の回答が質問に対し噛み合っていないように思える。表現を検討いただきたい。
委員長	重点事業は、前段の現状分析や取り組むべき課題があつて、重点的に取り組むものとしてあげられているかと思う。市民が見て分かりやすくするために補足的な説明

	が必要か。
事務局	武蔵野市の産業振興を考えるうえで、必要性が高い事務、またキャッシュレス化に対する支援など速やかに対応していかなければならないものを重点事業としている。
委員	潮流や法整備上、優先順位が高いなど何か一文を加筆すると分かりやすいかと思う。
委員	過去を見るに、産業振興施策が中々実現していかないのが現実である。最優先事項として重点事業としたものと理解している。加筆すると分かりやすいと思う。
委員長	施策体系図の前（P38、P39あたり）で、市の考え方を加筆すると良いかと思う。
事務局	パブリックコメントの結果の12番について、ご質問者は再開発という書き方をされているが、武蔵野市は再開発事業を行っていない、またそのような予定もない。南口の駅前広場の整備に限られている。それらも含め、吉祥寺グランドデザインで議論されている。パブリックコメントの回答については表現を工夫させていただく。
委員	計画案についてこれで良いかと思う。 現在、商業を取り巻く環境を見るとオリンピックの開催に向けて、東京都商店街振興組合連合会等は突き進んでいるが、東京オリンピック・パラリンピック2020終了後を心配している。終了後の商業・産業振興を取り巻く状況の変化を確認することが必要かと思う。計画の改定までは考えていないが、見直すことも必要ではないだろうか。
委員長	次期計画は2019～2023年度の5年計画となっている。2023年を目途に改定するとも謳っている。2021、22年ごろから動き出すものと考えている。
委員	オリンピック後はちょうど次期計画の中間点でもある、当計画の進捗状況等の報告があっても良いのではないか。近年は、顧客ニーズが短期間で変わるなど変化が激しい。常に見ておくことが大事と考える。
委員長	社会状況の変化にアンテナを高く張りながら対応していくことは、これまで以上に大事になってくるだろう。
事務局	市内の実態経済や産業動向について市で把握しきれていない状況があり、P49の⑥に市内産業や動向に関する定期的な調査の実施について施策として挙げている。商工会議所や商連と連携・協力しながら進めていきたいと考えている。 P50の①キャッシュレス化の対応については、今後、まちとしての競争力に影響が出る恐れのあるものと考えている。社会動向を注視しながら進めていく。
副委員長	本計画では、世の中の動きや背景をまとめ、事前調査を組み込み、現状分析、課題を踏まえ方向性が出ている。全体としてはよくまとまっている。しかしながら、予測できないことは多い。 もう少し具体的な話があると分かりやすいが、それは今後の課題となるだろう。P52②大学生の活躍の場づくりとある。市内には <u>5つの大学*</u> があり、学生は入れ替わるものの若い力があり、また大学・学生は様々な知見を有している。それを武蔵野市の強みにして学生を上手く活用してほしい。 また、パブリックコメントについては提出された意見が少ないように思う。実施方法、告知等に関しては改善する必要があるだろう。
委員長	産業振興計画については、策定していない自治体も多く見られる。パブリックコメ

*武蔵野市では、武蔵野地域の五大学（成蹊大学、亜細亜大学、日本獣医生命科学大学、武蔵野大学、東京女子大学）と連携し、「武蔵野地域自由大学」として高度で継続的、体系的な生涯学習の場を提供しています。

	<p>ントに関するご意見が委員から出されたが、産業振興に関わるパブリックコメントは少ない傾向にある。市民から見ると産業振興計画は自身の生活から遠い計画のイメージがある。生活者の視点と地域の資源を上手く活用し、循環させながら協働でプラットフォームを作っていく考え方の中にビジネスチャンスは生まれてくる。地域資源を循環させることで、産業振興も身近なものになり関心も高まっていくと考える。今回の産業振興計画には、そのようなニュアンスも入れこんだ形になっているはずである。</p>
委員 長	<p>P53、2、計画の点検・評価を読むと、市の内部評価にほかならない。外部評価についてはどのように考えているのか、確認したい。現行計画では政策懇談会を設けており、外部の方も加わっていたかと思う。</p>
事 務 局	<p>計画の執行・評価体制については、庁内の推進本部会議に関し記載している。庁内の関係各部に関わる事業もあり、推進本部会議は実施の方向で考えている。今回、外部の方からの評価について記載していないが、産業・経済政策懇談会を組織しており、この仕組みは今後も活用していきたいと考えている。会議体として見直すことを前提に、外部の方を含む組織については来年度検討する。</p>
委 員	<p>計画書を策定しても、進捗状況の報告がなされていないように思う。</p>
事 務 局	<p>産業・経済政策懇談会で、一部報告している。</p>
委 員	<p>第 1 回委員会の中では、現行計画の進捗状況をお示ししている。多くの事業がある、もう少し絞り込んでやった方が良いのではといったご意見もいただいた。毎年のように進捗状況を公表するなどの作業はしていなかった。第二期計画については市民の方々にも進捗状況を公表するような形にしていくのが良いと考える。</p>
委員 長	<p>P23～26 にかけて現行計画の事業の進捗状況について簡潔にまとめてはいる。途中での評価が分かりにくいとの話である。そのあたりも含めて情報発信の方法等について考えていただければと思う。</p> <p>大学生の話だが、14 万人の都市で 5 つもの大学があるのは恵まれた立地であると思う。二十歳前後の彼らの感性を生かし、まちなかをキャンパスとして彼らの研究や活動の場として提供するなど、多様な形で、地域資源として是非活用していただきたい。地域資源の最大の武器になると思う。</p>
委員 長	<p>計画案についてはいくつかご意見をいただいた。事務局の方で追記・修正をかけまとめていただきたい。現時点でご承認いただいたということで終了させていただく。次回委員会で最終計画案を承認することとなる。よろしくお願ひします。</p> <p>以上をもって、第 9 回「第二期武蔵野市産業振興計画策定委員会」の会議を終わります。ありがとうございました。</p>

3 その他

- ・ 次回の会議日程は 3 月 22 日（金）16 時から、場所は武蔵野商工会館 3 階消費生活センター講座室とする。
- ・ 議事要録案および開催通知は別途、お送りする。
- ・ 次回委員会での最終計画案のご承認を得て、3 月 28 日（木）11 時から市長への答申を行う。

4 閉会

以上